

令和4年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市民ネット・むろらん
議員名	水江一弘・小田中稔・佐藤潤・長岡充洋・滝口紘子
調査実施年月日	令和4年10月6日
調査先 自治体名等	長崎県 長崎市
調査項目	夜間整備事業について
調査目的	室蘭市においてどのように活用できるか検証すること
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：398,836人(R4.10.1現在) 行政面積：405.86 km²</p> <p>2 視察内容 ・夜間整備事業について 平成7年度より主要な観光施設のライトアップ整備を開始している。 平成24年度には「世界新三大夜景」(長崎・香港・モナコ)に認定。 平成27年度、グラバー園が日本夜景遺産に認定、日本新三大夜景(長崎・札幌・神戸)に認定、日本百名月に認定 平成30年度、日本新三大夜景(長崎・北九州・札幌)に認定 ナイトタイムエコノミーの推進、観光庁補助金事業の活用等を行う中、旅行の目的が「夜景」と答えた観光客は平成27年は3.8%でしたが、日本新三大夜景の認定や、市が実施した夜景整備事業等により、令和2年は23.5%と大幅に増加しており、その後も増加傾向を維持している。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>整備については多額の費用がかかるため、難しい面もあるが既存観光拠点の再生・高付加価値推進事業など観光庁の補助事業の活用は十分に考えられるのではないだろうか。</p> <p>稲佐山に登頂し、実際に演出照明を確認したが本市でも遠景の「夜景みがき」を民間の会社等と連携し、夜景を楽しめる取り組みが必要と考える。</p>